

## 4 重点的に取り組む施策（戦略プロジェクト）

盛岡市総合計画では、より効果的に計画を推進するために、盛岡市として施策を横断して戦略的に取り組むべき事柄について「戦略プロジェクト」としてまとめ、概ね3年を目途に、優先的に事業に取り組むこととしています。

予算編成においても、総合計画の目指す将来像である「ひと・まち・未来が輝き 世界につながるまち盛岡」の実現に向け、総合計画の推進と歩調を合わせ、限られた財源を最大限有効に活用することから、令和2年度当初予算編成においては、新たに取り組むとされた「未来のもりおかを創る若者・しごと応援プロジェクト」や、前年度から引き続き取り組むとされた「みんなが支える子ども・子育て安心プロジェクト」「2020 あつまる・つながるまちプロジェクト」の、合わせて3つのプロジェクトに対して、重点的な予算の配分に努めました。

### (1) 未来のもりおかを創る若者・しごと応援プロジェクト

1,178,549千円

盛岡の産業基盤の安定化、地場産業の魅力の向上、経営基盤強化のための支援を行い、若者を中心とした盛岡で働く人と場を創出することにより地域経済の活性化と人口流出の抑制を図り、持続可能な活力あふれるまちづくりを推進するための戦略プロジェクトです。

#### 具体的な事業名及び事業費

##### □ 工場新設拡充等事業（未来創造産業拠点形成調査事業）【新規】

2,000千円

（ものづくり推進課）

企業へのアンケート調査を実施し、盛岡の環境を踏まえた立地意向や市への要望を収集分析し、新たな産業集積や企業の誘致を図ります。

##### □ 雇用対策推進事業（魅力ある職場づくり推進事業）【新規】（経済企画課）

1,096千円

市内企業を対象に、ICTの活用も含めた働き方改革に資する研修会を開催するなど、ワーク・ライフ・バランスを実現することにより、働く人にとって魅力的な職場となるための支援を行い、人材の定着を図ります。

##### □ 農業生産対策事業（スマート農業導入促進事業）【新規】（農政課）

3,000千円

農業用ドローン本体とオペレーター認定を取得する経費の一部を助成し、農業用ドローンの活用を促進することによって、農作業の効率化と生産性の向上を図るとともに新たな担い手の確保に繋がります。また、生産条件が不利な中山間地域で、圃場分散型農業の対応策としての活用を推進します。

- 盛岡りんご担い手バックアップ事業 500 千円  
（りんご剪定作業担い手育成補助金）【新規】（農政課）

生産者の高齢化に伴い、盛岡りんごの担い手が減少し供給力の低下が懸念されることから、剪定作業の担い手の確保や生産技術の継承のため、新規作業従事者の補助を行い、農家経営の安定化を図ります。

- 農業改良普及事業（輸出支援事業）【新規】（農政課） 150 千円

輸出支援に関するセミナーやフォーラムを開催し、生産者の意欲喚起や輸出に向けた機運醸成を図ります。

- 成長分野拠点形成支援事業【拡充】（ものづくり推進課） 33,230 千円

成長分野と位置付けている医療福祉機器製造業等の研究開発型企業の集積を図るため、海外展開を目指す新事業に対しての助成、ヘルスケア産業協議会の活動のほか、企業集積の誘引力となるクラスター形成への支援として、新たにインターンシップ事業と受託者の自主事業により、高度人材の地元定着に取り組みます。

- 食と農のバリューアップ推進事業【拡充】（食と農の連携推進室） 25,197 千円

生産者、事業者、消費者が一体となった「美食王国もりおか」の実現に向け、引き続き食と農の連携に取り組むとともに、盛岡産農畜産物のPR活動の充実によるさらなる認知度の向上や6次産業化の手法を学ぶセミナー開催などの支援を拡充し、生産者の所得向上と食関連産業の活性化を図ります。

- 新規就農支援事業（農政課） 18,958 千円

農業を始めようとする人を対象に就農相談を行うとともに、国の農業次世代人材投資資金及び盛岡市親元就農給付金制度を継続することで、新規就農者への支援の充実を図り、担い手の育成と新規就農者の確保に取り組みます。

- 盛岡の食材プロモーション事業（食と農の連携推進室） 2,416 千円

盛岡産農畜産物の情報発信の強化とファンの拡大を図るため、市内の農業生産者と飲食店・ホテルなどとの商談会・シェフツアーの開催、盛岡の美味しいもんアンバサダー認定制度を運営します。また、令和2年度は、ホストタウンおもてなしとして、東京2020オリンピック事前キャンプにおいて盛岡産食材を使ったおもてなしを行います。

- 林業労働対策事業（林政課） 494 千円

高校生を対象に、仕事としての林業の魅力を発信し、担い手確保につなげるために林業・木材産業の関連事業所の見学会（森のしごと見学会）を実施します。

- 雇用対策推進事業（もりおか就職ガイダンス／盛岡地域雇用開発協会負担金）（経済企画課） 1,387千円

「もりおか就職ガイダンス」の開催や「盛岡企業ガイドブック」の発行により、就職を希望する若者に対して盛岡市域の企業情報を発信し、地元就職の支援を行うとともに、企業の人材確保を図ります。

- 雇用対策推進事業（U・Iターン、移住支援事業）（経済企画課） 8,386千円

ふるさといわて定住財団が開催する「岩手県U・Iターンフェア」に出展し、U・Iターンを希望する方に対する情報提供等を行うとともに、岩手県と共同で実施する移住支援事業により、東京圏からの移住者に対して移住支援金を支給し、移住の促進に取り組みます。

- 若者の就業支援事業（高校生インターンシップ・スキルアップ／高校生地元就職フォローアップ事業）（経済企画課） 2,347千円

高校生に対して、将来の進路や働き方を考え、現実的な職業観の形成を図るとともに、地元企業の魅力に触れてもらうため、インターンシップや研修会を開催するほか、地元企業で働く若手社員の日常を紹介するなどした「モリオカシゴトカメラ」を配布し、地元で働く魅力を伝えるなどして、若者の地元定着を図ります。

- 若者の就業支援事業（ジョブカフェいわて運営事業）（経済企画課） 5,004千円

若者に対し、きめ細かな就職相談や職業意識の啓発を行うとともに、就職に関する情報提供を行うため、岩手県が設置する「ジョブカフェいわて」にカウンセラー1名を配置し、就職等に関するカウンセリング等を行います。

- 若者の就業支援事業（新社会人就職定着支援事業）（経済企画課） 1,975千円

就職後3年目までの若手社員を中心に、コミュニケーションスキル向上研修、キャリア開発研修等を行うことにより、職場への定着を支援します。

- 若者の就業支援事業（若者等地元定着強化事業）（経済企画課） 3,399千円

市内の企業の情報発信力及び採用力の向上を図るため、自社の魅力の伝え方や、ターゲットを明確にした採用活動の方法に関する研修等を実施し、市内企業の人材確保を支援します。

- 中小企業人材育成支援事業（経済企画課） 200千円

地域イノベーションの創出を促し、事業者の経営力を強化するため、東北大学大学院地域イノベーションプロデューサー塾等において開催する研修に盛岡市内の中小企業の役員・社員が受講する場合の受講料の一部を補助します。

- 工場新設拡充等事業（ものづくり推進課） 54,700 千円

各種助成などにより、市の区域内における工場・事務所等の新設・拡充を奨励し、産業の振興と雇用の促進を図るとともに企業の誘致を推進します。

- 工業振興事業（製造業及び情報サービス業市場開拓等事業補助金）  
（ものづくり推進課） 800 千円

中小企業が市場開拓や販路拡大を目的として、国内外の展示会や見本市へ自社製品やサービスを出展する際に必要となる経費に対する補助制度を実施し、地元企業の競争力の強化を推進します。

- 工業振興事業（企業サポート専門員）（ものづくり推進課） 2,877 千円

工業振興ビジョンを推進するため、市内企業を訪問し、それぞれの企業が持つ課題の解決を支援するとともに、事業承継の促進を図り工業の振興に取り組みます。

- 産業支援事業（ものづくり推進課） 1,219 千円

大学等との産学共同研究により新たな価値の創造やニーズの発掘につながる、新規性・独創性のある取り組みに対し、経費の一部を助成します。

- ものづくり産業魅力向上事業（ものづくり推進課） 2,122 千円

盛岡地域で生まれた優れた工芸品の普及、商品力の向上を図るため、首都圏等の展示施設及び海外において、実演販売等による出展を行うとともに、盛岡手づくり村に情報を集約し、ものづくりの面白さや魅力発信の強化を図ります。

- ものづくり人材育成事業（ものづくり推進課） 138 千円

ものづくりを担う人材を育成し、地元への定着を促進するため、地元企業の情報発信力を高める取組として、盛岡広域の特性を活かしたものづくりをテーマとしてセミナーや工場見学等を実施します。

- 盛岡テクノミュージアム設置事業（ものづくり推進課） 740 千円

学生等が地元企業の工場を見学し、情報を入手する機会を増やすことで、企業への理解を深め、若者の地元定着を図るため、市内の工場等を盛岡テクノミュージアムに登録し、受入環境を整備する企業に対し助成を行います。

- 産業支援センター管理運営事業（ものづくり推進課） 16,573 千円

貸ブースとインキュベーションマネージャーのハンズオン支援により、起業を目指す方や起業間もない方等を支援します。

- 産学官連携研究センター管理運営事業（ものづくり推進課） 18,907 千円

岩手大学との共同研究を推進するための実験室やオフィスにより、新技術の研究開発に取り組む企業を支援します。

- 新事業創出支援センター管理運営事業（ものづくり推進課） 7,893 千円

開発拠点としての貸工場により、独創的な新技術や新製品を開発し、事業化を目指す企業を支援します。

- 起業家支援事業（ものづくり推進課） 160 千円

盛岡市，滝沢市，紫波町，矢巾町で共同して，起業家塾を開催し，新規創業の促進を図ります。

- 新産業等用地整備事業（新産業拠点形成推進事務局） 962,681 千円

道明地区に産業等用地の整備を進め，先端技術を有する企業の集積や産学官連携による新技術・新商品開発を図り，企業の高付加価値化の実現を目指します。令和2年度は，令和元年度に引き続き，第一事業区の用地造成や上下水道，道路などの基盤整備を行います。

## (2) みんなが支える子ども・子育て安心プロジェクト

1,957,222 千円

若い世代や子育て世代が、希望を持って子どもを産み育てることができるよう、さまざまな保育ニーズに柔軟に対応するための支援を行うなど、子育て環境を充実します。

また、子育ての相談や子どもの健全な成長を支援する体制の充実を図り、盛岡に住み続けたいと思える、安心して子育てのできるまちを実現するための戦略プロジェクトです。

### 具体的な事業名及び事業費

#### □ もりおか子育て世帯応援事業【新規】

291,588 千円

家計の経済的負担の軽減を通じて、「子どもを2人以上生み育てたいと思う人の希望が叶い、安心して子育てができる街」を目指し、次の事業を行います。

##### <第2子以降の保育料無償化（事業費合計：165,876 千円）>

- 私立児童福祉施設等運営事業（子育てあんしん課） 88,176 千円
- 保育所管理運営事業（子育てあんしん課） 15,312 千円
- 認定こども園等運営費給付事業（子育てあんしん課） 39,204 千円
- 子育てのための施設等利用給付事業（保育サービス推進室） 23,184 千円

上記の四事業において、公立保育所、私立保育所、認定こども園・小規模保育所等の保育料について、年収 550 万円未満相当世帯の第2子以降を無償とします。また、認可外保育施設の保育料について、年収 550 万円未満相当世帯の第2子以降に補助を行います。

##### <副食費助成（事業費合計：88,776 千円）>

- 私立児童福祉施設運営費助成事業（保育サービス推進室） 88,776 千円

この事業では、幼児教育・保育の無償化後に実費徴収となった副食費について、年収 550 万円未満相当世帯に補助を行います。

##### <放課後児童クラブ利用料の軽減（事業費合計：36,936 千円）>

- 地域児童クラブ等運営事業（子ども青少年課） 36,936 千円

この事業では、放課後児童クラブの利用料について、年収 550 万円未満相当世帯のきょうだい同時利用及び低所得世帯の負担を軽減します。

#### □ 児童館整備事業（(仮称) 向中野児童センター整備事業）【新規】

6,006 千円

(子ども青少年課)

児童センター未設置地区である向中野小学校区へ児童センターの整備を進めます。令和2年度は、基本設計及び地質調査を行います。

- 障がい者相談支援事業（児童に特化した相談窓口の設置）【新規】 4,800 千円  
（障がい福祉課）

発達障がい児の早期発見・早期療育を目的に、障がい児の相談支援の中核となる「児童に特化した委託相談の窓口」として、相談支援事業を実施します。

- 中学生医療費給付事業【拡充】（医療助成年金課） 86,492 千円

中学生について、子育て支援として医療費を助成します。助成額は保険で診療を受けたときの一部負担金から1診療報酬明細あたり入院 2,500 円、外来 750 円を差し引いた額（非課税世帯は全額）。

令和2年度から現物給付方式を導入します。

- 子育てのための施設等利用給付事業【拡充】（保育サービス推進室） 11,664 千円

旧制度幼稚園に通う子どもの保護者が負担する副食費について、国の基準に基づき補助を行います。

- 医療費給付事業（乳幼児医療費給付事業）（医療助成年金課） 431,212 千円

乳幼児について、子育て支援として保険で診療を受けたときの一部負担金の全額を助成します（無償化）。

- 医療費給付事業（小学生医療費給付事業）（医療助成年金課） 230,886 千円

小学生について、子育て支援として医療費を助成します。助成額は保険で診療を受けたときの一部負担金から1診療報酬明細あたり入院 2,500 円、外来 750 円を差し引いた額（非課税世帯は全額）。

- 医療費給付事業（妊産婦医療費給付事業）（医療助成年金課） 136,486 千円

妊産婦について、子育て支援として医療費を助成します。助成額は保険で診療を受けたときの一部負担金から1診療報酬明細あたり入院 2,500 円、外来 750 円を差し引いた額（非課税世帯は全額）。

- 子ども家庭総合支援センター事業（子ども家庭総合支援センター） 20,181 千円

児童虐待の発生予防と早期発見，早期対応を行うため，子どもや保護者に寄り添い，訪問等による継続的な相談・支援を行う「子ども家庭総合支援センター」を運営します。

- 養育支援訪問（家事援助）事業（子ども家庭総合支援センター） 1,188 千円

食事や衛生状況に課題を抱える子育て家庭に対し，家事援助サービスを提供することにより，子どもが健やかに育つ環境が整うよう家庭を支援します。

- 児童館整備事業（（仮称）見前第二児童センター整備事業  
（子ども青少年課） 16,031 千円
- 児童センター未設置地区である見前小学校区において、小学校の敷地内に児童センターを整備します。令和2年度は、実施設計及び地籍測量を行います。
- 子ども・子育て支援事業計画推進事業（子ども青少年課） 302 千円
- 子ども・子育て会議の運営などを通し、第2期盛岡市子ども・子育て支援事業計画の円滑な推進を図ります。
- 子ども未来基金事業（子ども青少年課） 32,070 千円
- 企業・団体・個人から寄附を募るとともに、市民、地域団体、企業等が行う子ども・子育ての取り組みに要する経費を補助します。
- 子育て応援プラザ運営事業（子ども青少年課） 25,093 千円
- 室内遊び場やリラックスルーム、子育て中の女性向けのオフィスなどを備えた子育て支援施設を公民連携により運営します。
- 児童館管理運営事業（児童厚生員の適正配置）（子ども青少年課） 30,179 千円
- 児童厚生員の適正配置の基準に基づき、利用児童数に応じた児童厚生員を配置し、利用児童の健全育成を図ります。
- 児童福祉施設環境改善事業（児童センターエアコン設置）  
（子ども青少年課） 11,007 千円
- 児童館・児童センターにエアコンを整備します。令和2年度は、既存のエアコンの容量が不足している施設のエアコンの設置などを行います。
- 児童福祉施設環境改善事業（公立施設エアコン設置）  
（子育てあんしん課） 3,149 千円
- 公立保育所にエアコンを設置します。令和2年度は、公立保育所の事務室にエアコンを設置します。
- 待機児童解消強化事業（子育てあんしん課） 8,600 千円
- 既存の施設を活用して定員増を図る取組である定員の弾力化に積極的に取り組む保育所に対して、児童を受け入れるために必要な備品等を購入する費用等の一部を補助します。



- 特別保育事業（延長保育実施補助）（子育てあんしん課） 127,400 千円

市内私立保育所や小規模保育所等において延長保育を実施する場合に要する経費の一部を補助します。

※2年度は延長保育実施施設を9施設増やし、92施設とする予定です。

- 私立児童福祉施設整備助成事業（保育サービス推進室） 144,491 千円

増改築を予定している私立保育所に改築費の一部を補助します。

- 増改築等 1施設（定員20人増）

- 保育士確保対策事業（保育サービス推進室） 85,334 千円

保育士の生活支援により、保育士確保を図ります。

- 保育士の奨学金の返還費用の一部を補助
- 保育士の宿舍借上げ費用の一部を補助
- 若手保育士の処遇改善費用の一部を補助

- 子育て世代包括支援センター事業（子育て世代包括支援センター） 10,169 千円

妊娠、出産、子育て期にわたる様々な悩み等に対し、保健師・助産師等が、面接や訪問等により、専門的な見地から継続的に支援を行います。

- 乳児家庭全戸訪問等事業（子育て世代包括支援センター） 5,493 千円

生後4か月までの乳児のいるすべての家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供及び養育環境等の把握を行い、該当する家庭の孤立化を防ぎます。

- 小児救急輪番制病院事業（企画総務課） 22,792 千円

休日、夜間等における入院治療を必要とする小児の重症救急患者の医療を確保するために、輪番制で診察にあたる病院へ運営費を補助します。また、小児医療を提供する公的病院等に対して運営費を補助します。

- 夜間急患診療所管理運営事業（企画総務課） 75,434 千円

夜間の初期救急医療を確保するため、午後7時～午後11時30分まで、内科医及び小児科医を配置し、年中無休で応急的な診療を行う夜間急患診療所の運営を行います。

- 予防接種事業（幼児、小・中学生インフルエンザ予防接種補助）  
（保健予防課） 74,196 千円

集団生活を送る子どものインフルエンザの重症化及び感染拡大の防止、子育て世代の負担軽減を図ります。0歳～中学生を対象とし、助成金額を1回につき2千円、助成回数を13歳未満は2回、13歳以上は1回までを限度に行います。

- 母子保健事業（産婦健康診査事業）（母子健康課） 19,093 千円

産後の間もない時期（概ね2週間，1か月）に，産婦に対する健康診査を2回実施し，身体機能の回復や授乳状況，精神状態を把握することにより，妊娠期から子育て期に渡る切れ目のない支援を行います。

- 母子保健事業（産後ケア事業）（母子健康課） 773 千円

産後に家族等から十分な家事や育児の支援を受けられない母子等支援が必要と認められた産婦に対し，心身のケアや育児のサポートを行い，産後も安心して子育てができるよう支援を行います。

- 母子保健事業（新生児聴覚検査事業）（母子健康課） 8,549 千円

新生児期において，先天性の聴覚障害の発見を目的として実施する新生児聴覚検査の費用を5,000円を上限に助成することにより，保護者の経済的な負担を軽減します。

- 子育て世帯支援型賃貸住宅改修事業（建築住宅課） 3,000 千円

子育て世帯を対象とした入居促進のため，既存の住宅等を改修し，子育て世帯専用の賃貸住宅とする民間事業者等に対して，改修費用の一部を補助します。

- 就学援助事業（新入学児童学用品費入学前支給）（小学校）  
（教育委員会学務教職員課） 9,753 千円

経済的理由等により就学が困難な児童の保護者に，義務教育に必要な費用の一部を援助する就学援助事業について，入学する際に必要な学用品・通学用品に係る費用の支給を，入学準備の時期に実施します。

- 就学援助事業（新入学生徒学用品費入学前支給，クラブ活動費支給）  
（中学校）（教育委員会学務教職員課） 23,811 千円

経済的理由等により就学が困難な生徒の保護者に，義務教育に必要な費用の一部を援助する就学援助事業について，クラブ活動費の支給を実施します。また，入学する際に必要な学用品・通学用品に係る費用の支給を，入学準備の時期に実施します。

### (3) 2020 あつまる・つながるまちプロジェクト

205,360 千円

本市を訪れる旅行客が満足し、選ばれる観光地域となるため、歴史や自然、文化などの恵まれた観光資源を生かし、ブラッシュアップするとともに、国内外からの観光客受入態勢の整備を進めるほか、様々な媒体を通じ、本市の魅力の積極的なプロモーションを行います。

また、東京 2020 オリンピック・パラリンピックの機運を高め、ホストタウン事業などに取り組むとともに、MICE（マイス）の誘致や盛岡ファンづくりを推進するなど、交流人口を増やし、魅力があふれるまちづくりを推進するための戦略プロジェクトです。

#### 具体的な事業名及び事業費

##### □ 姉妹都市等国際交流事業

10,989 千円

（ビクトリア市姉妹都市提携 35 周年事業）【新規】（文化国際課）

令和 2 年度に迎えるカナダ・ビクトリア市との姉妹都市提携 35 周年という節目の年を祝うにあたり、両市長による公式訪問を実施するとともに、民間が主体となった記念事業を展開するために組織された「盛岡市・ビクトリア市姉妹都市提携 35 周年記念事業実行委員会」に、負担金を支出します。

##### □ 芸術文化活動振興事業（盛岡文士劇東京公演）【新規】（文化国際課）

5,000 千円

平成 31 年 2 月 20 日に友好都市提携の調印を行った文京区で盛岡市の歴史風土や文化などの魅力の一つである「盛岡文士劇」を上演することにより、両自治体の魅力を相互に理解しあいながら、「芸術・文化の香り高いまち」盛岡の魅力の発信を図ります。

##### □ 競技大会等開催事業（スポーツライミング第 3 回コンバインド ジャパンカップ）【新規】（スポーツツーリズム推進室）

2,000 千円

スポーツライミング第 3 回コンバインドジャパンカップを岩手県営運動公園登はん競技場で開催し、競技力の向上と盛岡の魅力発信を図ります。

##### □ 観光団体育成強化事業（盛岡伝統芸能常設公演事業）【新規】（観光課）

5,700 千円

伝統芸能体験をインバウンド誘客におけるナイトツーリズムとして設定するとともに、東北デスティネーションキャンペーン（令和 3 年 4～9 月）に向けて、観光コンテンツの一つとしてブラッシュアップを図ります。

##### □ 盛岡ブランド確立事業【拡充】（都市戦略室）

12,381 千円

マーケティングや広報の専門人材を活用し、マーケティング手法を取り入れた戦略的な情報発信によるシティプロモーションを行います。

また、市内外に盛岡を愛する人を増やし、選ばれる都市となることを目指します。

- 観光客誘致宣伝事業（東北六市連携広域観光プロモーション事業）  
【拡充】（観光課） 3,000 千円

東北の県庁所在地 6 市の連携を活用し東京 2020 オリンピック・パラリンピックを契機に、広く国内外に向けたプロモーション活動を積極的に展開します。令和 2 年度においては、7 月にオリ・パラ関連イベントに参加するほか、首都圏プロモーションの実施を予定しています。

- 移住・定住・交流人口対策事業（都市戦略室） 21,307 千円

若者の地元定着や移住・定住促進のため、首都圏の若年層向けの情報発信や、盛岡コミュニティの支援、暮らし体験ツアー、「仕事」と「暮らし」の相談体制強化など、関係人口の増加を機軸とした取組を推進します。

- 地域おこし協力隊活用事業（移住・定住の促進）（都市戦略室） 3,936 千円

移住・定住や若者の地元定着を促進するため、移住・定住のコーディネーター役として「地域おこし協力隊」を配置し、「仕事」と「暮らし」の一体的な相談体制等を強化します。

- 芸術文化活動振興事業（盛岡国際俳句大会）（文化国際課） 4,000 千円

市制施行 130 周年を記念し、俳句を通して盛岡市の魅力を国内外に広く発信することで、インバウンドの増加や都市ブランドの確立を図る目的で開催された第 1 回盛岡国際俳句大会の成果を市民にさらに定着させ、芸術文化振興に寄与することを目的とし、第 2 回大会を開催し、負担金を支出します。

- 姉妹都市等国際交流事業（ホストタウン機運醸成事業）（文化国際課） 1,590 千円

カナダ、マリ共和国を相手国とするホストタウン交流について市民の理解や関心を深めるため、マリ音楽と本市出身の箏奏者によるコンサートの実施や、市内中心地のシティドレッシングを行うことで、機運醸成及び市民の国際感覚の醸成を図ります。

- 競技大会等開催事業（いわて盛岡シティマラソン）（スポーツ推進課） 30,000 千円

盛岡の魅力発信とスポーツによる交流人口の拡大を目的としたフルマラソン大会を開催するため、「いわて盛岡シティマラソン実行委員会」へ開催負担金を支出します。

- 盛岡広域連携スポーツツーリズム推進事業  
（スポーツツーリズム推進室） 53,924 千円

東京 2020 オリンピック・パラリンピックのホストタウンとして、カナダの水球・ラグビー、マリ共和国の柔道の事前キャンプの受入れ、交流事業に取り組みます。また、盛岡広域スポーツコミッションによるスポーツを通じた交流人口の拡大などに取り組みます。

- 地域おこし協力隊活用事業（盛岡広域連携スポーツツーリズムの推進）  
（スポーツツーリズム推進室） 4,000 千円

地域おこし協力隊によるスポーツを通じた盛岡広域圏の魅力を効果的にPRするため、盛岡広域スポーツコミッションホームページやSNSによる情報発信を行い、盛岡広域地域のスポーツツーリズムの推進を図ります。

- 外国人観光客誘致推進事業  
（外国人観光客等受入環境整備・情報発信事業）（観光課） 6,408 千円

台湾及びタイをターゲットとして、モデルルートを設定したタイ語マップ等の作成や、受入環境整備を行います。また、観光施設等にWi-Fi設備の導入を進め、SSIDを統一してONE認証化を図ります。

- MICE（マイス）誘致推進事業（観光課） 25,800 千円

盛岡市内を主会場とする一定規模以上の国際会議や全国規模のコンベンションなどに対して、開催費用の一部を助成する制度による誘致を促進することで、地域経済の活性化を目指します。

- 大型観光キャンペーン事業（岩手もりおか復興フェスタ開催事業）  
（観光課） 1,000 千円

東日本大震災からの復興と元気を発信するため、食の魅力を発信するイベントなどと連携しながら、被災地をはじめとする祭りや郷土芸能団体が出演する「岩手もりおか復興フェスタ」を開催します。

- 盛岡三大麺普及事業（経済企画課） 418 千円

盛岡の三大麺である「わんこそば」「盛岡冷麺」「盛岡じゃじゃ麺」の普及を推進するため、盛岡三大麺普及協議会及びわんこそば選手権の負担金を支出します。

- 地場・伝統産業振興事業（特産品ブランド振興事業）  
（ものづくり推進課） 133 千円

盛岡の特色豊かな工芸品や食品、農産物等を広く全国にアピールするため、新たな盛岡ブランド品認定制度により、販売促進、販路拡大を図ります。

- 地場・伝統産業振興事業（盛岡デー開催事業）（ものづくり推進課） 2,900 千円

盛岡の観光PRと魅力発信の場として、東京と沖縄県うるま市で継続開催を予定している「盛岡デー」の開催に係る負担金を、主催者である「盛岡デー実行委員会」に支出します。

□地場・伝統産業振興事業（盛岡市の物産と観光展開催事業）  
（ものづくり推進課） 3,964 千円

首都圏及び北海道からの観光客誘致に向け、熊谷市や札幌市などで開催を予定している物産と観光物産展に係る負担金を、主催者である「盛岡市の物産と観光展実行委員会」に対し支出します。

□ 盛岡地区かわまちづくり事業（公園みどり課） 2,910 千円

北上川における舟運復活に向けイベントの開催や社会実験等を行う実行委員会への負担金等による支援を行います。市民と行政が一体となり取り組みを進め川を活用した新たな観光資源や水辺の賑わいの創出を図ります。

□ 公園等維持管理総務事務  
（いしがきミュージックフェスティバル支援事業）（公園みどり課） 4,000 千円

盛岡城跡公園を主会場として開催する「いしがきミュージックフェスティバル」の実行委員会への負担金等による支援を行います。イベントを通じ盛岡の魅力を発信するとともに、交流人口の増加と若者の活躍、被災地の復興を応援します。